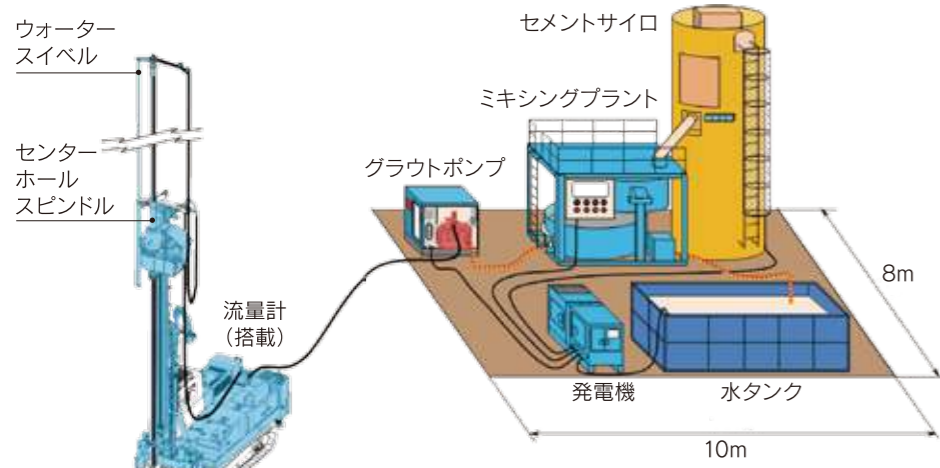


施工概要



安定通信環境にて施工可能

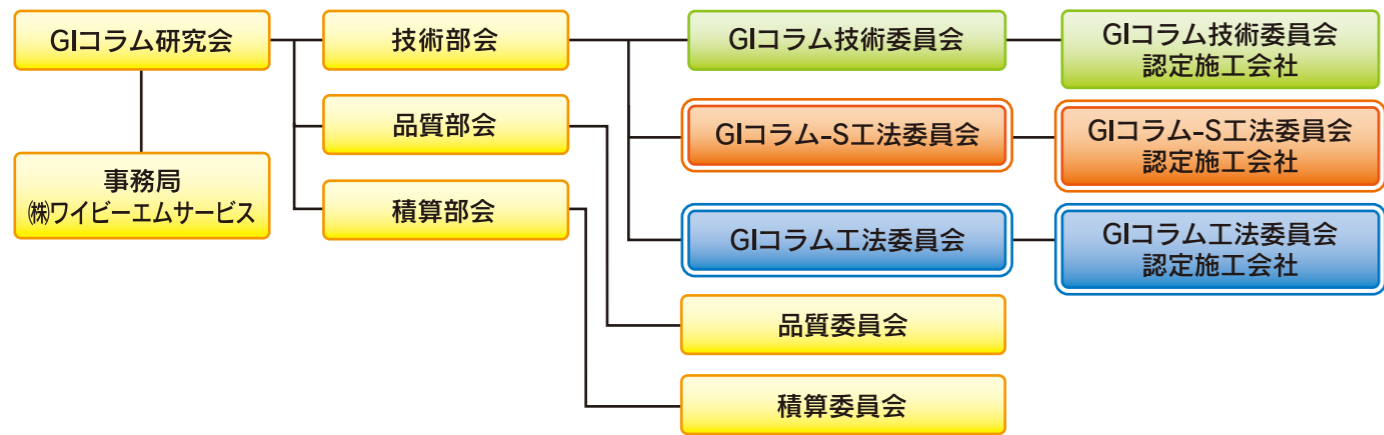
- リモコン操作で安心・安全
- バトライト搭載で、通信環境が確認できます。

改良体 [機械能力]

MODEL	GI-50C-β 35KL-5	GI-80C-HT-KF	GI-130C-HT-KF-4	GI-220C
スピンドル内径	157 mm	175 mm	175 mm	225 mm
スピンドル回転数	13~76 min ⁻¹	2~55 min ⁻¹	6 ~ 69 min ⁻¹	0~60 min ⁻¹
スピンドルトルク	6.0~34.3 kN・m	19.6~58.8 kN・m	21.2 ~ 71.2 kN・m	0~98 kN・m
最大供給圧力	49.2 kN	103.0 kN	132.5 kN	198.7 kN
フィードストローク	5,000 mm	5,000 mm	5,500 mm	8,000 mm
フィードスピード	0~7.0 m/min	0~5.0 m/min	0~4.5 m/min	0~7.0 m/min
リーダスライドストローク	1,500 mm	2,000 mm	2,000 mm	0 mm
エンジン出力	47.6kW / 2,400 min ⁻¹	78.1kW / 2,200 min ⁻¹	102.1 kW / 2,200 min ⁻¹	160.0 kW / 1,800 min ⁻¹
運搬時寸法(L×W×H)	7,535 x 2,000 x 2,800 mm	8,090 x 2,380 x 2,900 mm	8,830 x 2,595 x 3,050 mm	11,500 x 2,900 x 3,346 mm
質量(運搬時)	11,950 kg	17,600 kg	24,750 kg	34,000 kg
改良径	(機械能力) ~ φ 800 mm			
改良長*	適用改良	(機械能力) ~ φ 1,200 mm	(機械能力) ~ φ 1,600 mm	(機械能力) ~ φ 2,000 mm
		~ 11 m	~ 15 m	~ 20 m
			~ 20 m	~ 25 m

*ロッドの継ぎ切り無しの場合

GIコラム研究会組織図



株式会社 西尾技建

〒567-0865 大阪府茨木市横江2丁目10-48
 TEL 072-630-5252
 FAX 072-630-5253
 E-mail info@nishiogiken.co.jp
 URL http://nishiogiken.co.jp



お問合せ
事務局

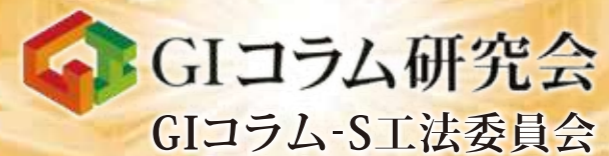
株式会社 ワイビーエムサービス
 〒847-0031 佐賀県唐津市原1297
 TEL.0955-77-6511・FAX.0955-77-1901

<http://www.gi-column.jp/>

軟弱地盤改良工(スラリー攪拌工法)

GIコラム-S工法

建築技術性能証明書 (GBRC性能証明 第18-01号) 取得

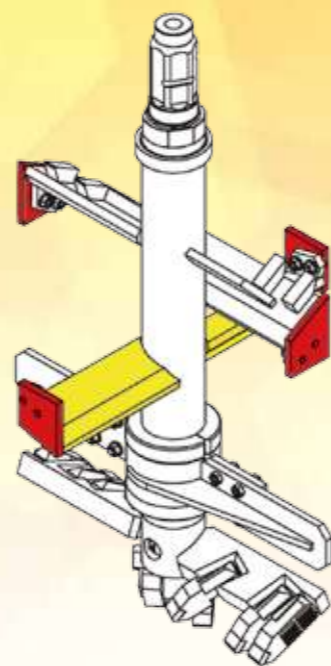


高性能な施工管理装置・施工支援システム

& コンパクトな施工機械

良好な攪拌混合で品質向上!!

作業性・安全性・経済性の向上!!



建築技術性能証明書取得攪拌翼

概要

本工法の攪拌ヘッドは、一般的な攪拌ヘッドに対し、攪拌混合精度の向上と鉛直性の確保を目的として、以下の特徴を有している。

- 品質向上を目的とし、上下 2 段の攪拌翼の間隔を広げ、傾斜角を逆方向としている。また、下段攪拌翼の傾斜を緩やかにしている。
- 改良杭の鉛直性を確保するため、上下 2 段の攪拌翼の外側に鉛直板を装着している。

適用範囲

形状	杭状、ブロック状、壁状等
適用構造物	建築物、擁壁および工作物
攪拌軸数	単軸
改良体径	φ 600mm～φ 1400mm(100mmピッチ)※1
攪拌翼数	6枚翼(掘削翼を含む)
羽根切回数	400回/m以上
適用地盤	砂質土(シラス含む)、粘性土(ローム含む)
最大改良長	20m※1
一軸圧縮強さの変動係数	25%
固化材配合量	配合試験により決定(150kg/m ³ 以上)
設計基準強度	砂質土 800～2000kN/m ²
	粘性土 600～2000kN/m ²
現場室内強度比	砂質土 0.72 粘性土 0.68

※1 施工機種によって、最大改良径、最大改良長は異なります。

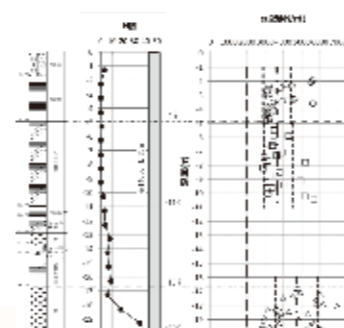
施工データ解析内容



狭小地での建築基礎施工状況



品質管理



土質柱状図
改良強度の事例(改良長20m)
※全深度を同一配合量で施工



改良体杭頭部径確認(φ 1400)
オールコアボーリングのコア状況
(フェノールフタレイン噴霧)



改良体鉛直性確認

特徴

- 1 小型軽量で適正なコラムの造成**
 - 小型軽量の施工機でコラム径φ 600～φ 1400mm※1の改良体を造成できるので、小規模な現場や市街地の狭い現場でも施工可能で、工事の作業性・経済性が向上。
- 2 センターホールタイプスピンドルによる施工範囲の拡大**
 - 最大改良長20m※1がロッドの継ぎ切り無しで施工可能であり、コスト縮減・工期短縮・環境負荷低減が可能。
- 3 高精度の施工**
 - リーダを前後左右に微移動して鉛直性の確保が可能。
 - 貫入速度、攪拌翼回転が任意に調整でき、土質の種類や硬軟、高配合量にあった速度での施工が可能。
- 4 安全性の向上**
 - 従来機に比べ、施工機が軽量コンパクトであり、施工時の地耐力に対する安全性が高い。
- 5 施工管理装置・施工支援システム**
 - 攪拌翼の回転数やミルクの注入量をリアルタイムで表示。
 - デジタル表示の深度計、昇降速度計、傾斜計を装備。
 - 施工支援システムにより、必要な情報を速やかに取得可能。

※1 施工機種によって、最大改良径、最大改良長は異なります。

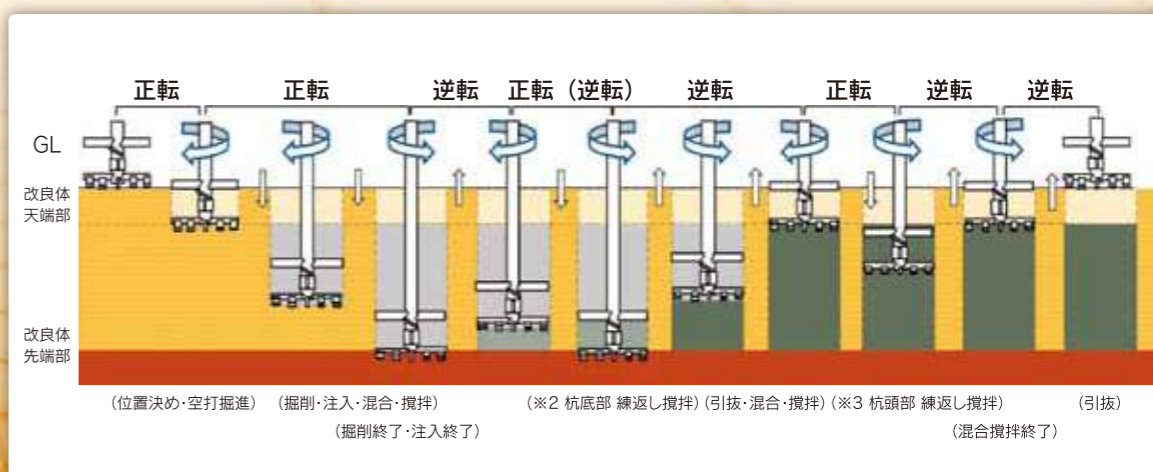


■ 建築技術性能証明書
(GBRC性能証明 第18-01号)を
取得しました。



■ コンパクトな設計により施工
深度20mを実現でき施工機
を分解せず25tトレーラで
運搬できます。
(GI-130C-HT-KF)

標準施工手順



※2 杭底部では、羽根切り回数確保のため、攪拌翼先端を攪拌翼上段位置まで1往復すること。
※3 杭頭部では、練返しは状況に応じて実施する。